

ひろしまハンドボール

No 113

2014. 5. 1



hiroshima handball

発行 広島県ハンドボール協会
 発行人 山本 一
 〒731-0192
 広島市安佐南区祇園5丁目37-1
 広島経済大学教育・学習支援センター内
 Tel 082-871-9345
 Fax 082-871-1021

2014年スタッフ

■湧永製薬■

オーナー 湧永 寛仁 (再任)
 部長 斉藤 正 (新任)
 監督 中山 剛 (復帰)
 コーチ 杉山 裕一 (新任)
 主将 今井 昭仁 (再任)
 主務 坂本 伸博 (再任)

■メイプルレッズ■

オーナー 山西 泰明 (再任)
 GM 高西 宏昌 (再任)
 GM代行 檀上 征彦 (再任)
 部長 山本 一 (再任)
 副部長 吉近 充洋 (新任)
 監督 呉 成玉 (再任)
 コーチ兼選手 大前 典子 (再任)
 コーチ 堂面 妙子 (再任)
 主将 増田 寛那 (新任)
 主務 安斎 千尋 (再任)

強カタッグで名門復活 頼む

湧永 中山監督 再登板



コーチには杉山氏

湧永製薬はスタッフを一新、監督に中山剛氏が再登板、コーチに元日本代表の杉山裕一氏の就任を求めた。4月9日、広島市のホテルで就任記者会見を開いた。湧永製薬は2012年の全日本総合選手権では優勝したが、日本リーグは16シーズン頂点を極めておらず、全日本社会人選手権も6年タイトルと無縁の状況が続いている。

中山監督は2004年から4年間指揮を執っており、7年ぶりの再登板となった。杉山コーチの現場復帰は8年ぶり、指導は初めて。

4月7日から指導をはじめた中山監督は会見で「チームを一度壊すことからは始め、個の強さを身につけ戦える集団を目指す」と抱負を語った。杉山コーチは「選手の力を引き出すことが仕事」と意欲を見せた。

広島メイプルレッズは大きなスタッフの変動はない。吉近コーチが副部長でフロント入り、コーチは2人体制となった。

一方、河田主将が現役を退き、後任には日本代表の増田寛那が指名された。

新主将に増田

メイプル

新たな人生へ船出

メイプルレッズは河田・山口が退部



河田 早紀



山口 彰

広島メイプルレッズで今シーズン、コートから姿を消すことになったのは河田早紀、山口彰の2人。

河田は大阪体大から2008年に入部、6年間、主に守りの大黒柱として活躍。昨シーズンは主将を務めた。日本リーグ74試合で19得点。山口は富士大から昨年入部。日本リーグで16試合にベンチ入りしたが、得点はなかった。また日本リーグ通算101得点の安斎は主務を主体にチームを支える。

新戦力

新しい風をチームに吹き込む！日本リーグを戦う湧永製薬、広島メイプルレッズに大きな期待を背負い、希望に胸を膨らませた新戦力が加わった。

湧永製薬は3人、メイプルレッズには5人。いずれも即戦力と期待されており、リーグ奪回に向けて1日も早くコートで暴れてもらいたい。



4 CB 木田 梨砂
 1991.07.02 生 鳥取県
 162 ㎝ 62 ㎏。右利き
 A型 境港二中⇒洛北高⇒大阪体大



9 RW 門谷 舞
 1991.07.29 生 岐阜県
 163 ㎝ 58 ㎏。左利き
 B型 中山中⇒飛騨高山高⇒東女体大



19 LW 松村 杏里
 1991.06.21 生 東京都
 168 ㎝ 61 ㎏。右利き
 O型 東久留米西中⇒佼成女学園高⇒大阪教大



20 PV 角屋 里帆
 1991.07.12 生 東京都
 167 ㎝ 69 ㎏。右利き
 AB型 東久留米西中⇒佼成女学園高⇒東女体大



21 CB 笠木 美希
 1991.07.09 生 東京都
 165 ㎝ 59 ㎏。右利き
 A型 東久留米西中⇒佼成女学園高⇒東女体大

湧永製薬

10 RW 稲毛 隆人
 1991.11.09 生 香川県
 182 ㎝ 87 ㎏。左利き
 O型 塩江中⇒香川中央高⇒大阪体大



17 LW 子安 貴之
 1991.12.18 生 大阪府
 181 ㎝ 80 ㎏。右利き
 A型 大淀中⇒此花学院高⇒大阪体大



22 GK 荻原 良太
 1991.07.30 生 山梨県
 187 ㎝ 95 ㎏。右利き
 B型 塩山中⇒駿台甲府高⇒明大



メイプル

新しい風になる！

修道・山陽に栄冠

男子・呉工、広 女子・三津田・賀茂も代表

男子の準決勝はともに接戦を演じ、前半3点のリードを許した修道が後半に逆転、1点差でかわした。呉工も前半は2点リードされて折り返したが、後半追いつき、延長で向原に競り勝った。決勝では修道が後半、呉工の攻撃を3点で抑え快勝した。
女子は選抜初出場の山陽が2試合とも圧勝した。

2014シーズンの開幕を告げる中国高校選手権県予選は県高校選手権を兼ねて4月12、13日に東広島運動公園体育館で開かれ、男子は修道が6年ぶりの優勝、女子は山陽が初の栄冠に輝いた。男子の呉工、広、女子の三津田、賀茂とともに今月10日から境港市民第一体育館などで行われる中国高校選手権に県代表として出場する。



中国高校選手権県予選 成績

【男子】

▽1回戦

三津田 24 (12-2, 12-11) 13 西条農
賀茂 24 (12-7, 12-15) 22 山陽
祇園北 37 (18-4, 19-7) 11 如水館
廿日市 32 (16-4, 16-7) 11 城北

▽準々決勝

修道 29 (18-8, 11-6) 14 三津田
広 24 (9-9, 11-11) 7 MTC 4-2) 22 賀茂

呉工 24 (10-10, 14-6) 16 祇園北
向原 30 (14-8, 16-13) 21 廿日市

▽準決勝

修道 16 (7-10, 15-5) 15 広
呉工 35 (13-15, 14-12) 延長 8-6) 33 向原

▽3位決定戦

広 22 (10-13, 12-7) 20 向原

▽決勝

修道 29 (14-10, 15-3) 13 呉工

【女子】

▽1回戦

清水ヶ丘 21 (11-11, 10-5) 16 桜が丘
三津田 14 (6-5, 8-4) 9 祇園北

▽準決勝

山陽 38 (18-2, 20-5) 7 清水ヶ丘
三津田 20 (10-4, 6-12) 延長 4-2) 18 賀茂

▽3位決定戦

賀茂 26 (10-6, 16-3) 9 清水ヶ丘

▽決勝

山陽 38 (20-9, 18-9) 18 三津田

▽高学年男子

安芸高田 24 (11-3, 13-2) 5 HC 向原
メイプル 13 (7-1, 6-8) 9 呉 Jr HC
安芸高田 20 (7-3, 13-3) 6 メイプル
呉 Jr HC 25 (14-5, 11-6) 11 HC 向原

▽高学年女子

HC 向原 22 (12-1, 10-6) 7 安芸高田
HC 向原 14 (6-4, 8-9) 13 安芸高田

▽低学年混成

安芸高田 13 (6-5, 7-4) 9 HC 向原
メイプル 7 (3-2, 4-3) 5 呉 Jr HC
呉 Jr HC 6 (3-3, 3-2) 5 HC 向原
呉 Jr HC 9 (4-4, 5-4) 8 安芸高田

高学年男子は安芸高田2勝 県小学生L開幕

県小学生リーグは4月5日、東区スポーツセンターで開幕。高学年男子は安芸高田HC、同女子はHC向原がそれぞれ2勝と好発進した。

春季一般選手権は広経大

ジャパンオープン予選 日新と海自が代表

県春季一般選手権、ジャパンオープントーナメント県予選、全国クラブ選手権西地区大会県予選は4月4月19、20日に日新製鋼呉体育館で開かれた。

一般選手権は広経大が呉クラブの追い上げをかわし優勝した。ジャパンオープンは日新製鋼と海自江田島、クラブ選手権は広島HCが今月17、18日に呉市体育館などでの中国予選に出場する。

■平成26年度県春季一般選手権 成績

男子

▽1回戦
広経大 44 (22-5, 22-6) 11 修道 大
呉クラブ 25 (9-10, 16-3) 13 尾道市大
▽決勝
広経大 27 (15-6, 12-13) 19 呉クラブ

■ジャパンオープンT県予選 成績

男子

▽リーグ戦
日新製鋼 36 (13-11, 23-9) 20 マツダ
日新製鋼 37 (15-8, 22-7) 15 海自江田島
海自江田島 33 (16-9, 17-8) 17 マツダ
*順位 ①日新製鋼 2勝 ②海自江田島 1勝 1敗 ③マツダ 2敗

■全国クラブ選手権西大会県予選 成績

男子

▽決勝=参加2チーム
広島HC 29 (14-10, 15-15) 25 AWC

記録

★広島地区高校春季大会★

(4.19、20 向原高体育館)

【男子】1回戦 向原 21-12 山陽、廿日市 25-11 城北、賀茂 22-9 西条農、修道 23-16 祇園北

▽5-8位決定予備戦 山陽 28-15 城北、祇園北 20-13 西条農

▽5、6位決定戦 祇園北 21-15 山陽

▽7、8位決定戦 城北 23-16 西条農

▽準決勝 向原 27-22 廿日市、修道 21-19 賀茂

▽3位決定戦 賀茂 30-25 廿日市

▽決勝 向原 27 (15-13, 12-9) 22 修道

【女子】1回戦 山陽 43-10 桜が丘、賀茂 9-8 祇園北

▽3、4位決定戦 祇園北 23-18 桜が丘



子どもクリニックや紅白戦

湧永製薬・メイプルレッズ

笑顔満開 ファン感謝デー

湧永製薬、広島メイプルレッズのファン感謝デーが4月29日、広島市東区スポーツセンターで開かれ、ハンドボールを通して満開の笑顔が会場内に咲き誇った。

両チームの選手による子供たちのクリニックのあと、現役を退いた選手や新人の紹介、紅白戦などがあり、歓声に包まれた。

退部選手を代表して13年間湧永のゴールを守った松村選手が「応援ありがとう」と感謝の言葉を述べ大きな拍手に送られた。